

# 特集 防災



## 防災は、 日ごろの備えから

今年も、もう間もなく梅雨入りし、続いて台風の季節。また、今世紀前半に発生すると予想されている南海地震や、それに伴い広範囲の沿岸部に押し寄せる津波、さらには火災といった災害に対し、いざというときに慌てないように今から備えをしておきましょう。

Ⅰ 風水害対策

Ⅱ 非常持ち出し袋の準備

Ⅲ 地震災害

## I 風水害対策

建物内外の風水害対策

屋根のチエック  
瓦のひび・割れ・ずれまたは、はがれはありませんか？  
アンテナ類はしっかりと固定されていますか？

外壁や屋外設置物のチエック  
壁に亀裂や欠落、腐食はありませんか？  
屋外の設置物の固定はしっかりとできていますか？

ベランダなどの  
高所のチエック  
鉢植えや物干し竿などが強風で飛ばされたり落ちないように、固定や控えなどで補強しておきましょう。

雨どい・雨戸のチエック  
雨どいが落ち葉などで詰まっていますか？  
損傷や破損はありませんか？  
窓ガラスのチエック  
ひび割れ・がたつき・緩みなどはありませんか？  
ガラスの飛散防止には、ガムテープやフィルムなどを貼ると効果的です。

地盤の低い場所について  
河川の近くや地盤が低いところなど、水害の経験がある地域などでは、自衛策として土のうや板などを使って浸水を防ぐことも必要となります。  
土のうが無い場合は、ポリ容器に水を入れて土のうの代用として活用できます。  
浸水に備えて、家具などは少し高い所に移動しておくといいでしょう。

避難に備えて  
最近の雨の降り方は、局地的にしても短時間に集中して降る場合が多く、避難を余儀なくされることも考えられます。日ごろから非常持ち出し袋の準備をはじめ、最寄りの避難場所を確認しておきましょう。  
避難場所については、風水害時と地震災害時では、条件が異なりますので、避難所として使用が可能なのかも併せて確認しておきましょう。また、水害情報はある程度の予測が付くことが多いので、テレビやラジオからの気象情報をチェックしましょう。



山間部での土砂災害について  
山間部では、土砂災害の発生の危険がありますので、周辺で異常を感じたり、相当量の降雨を伴った場合は、早めに避難をしましょう。避難する際は、隣近所どうし声を掛け合い、子どもや高齢者等の災害弱者の避難を優先しましょう。

## II 非常持ち出し袋の準備

非常持ち出し袋は、市販のリユックサックタイプのような背負えるものがよいでしょう。袋に入れるものとしては次のようなものがあります。携帯ラジオ、懐中電灯、ろうそくなど

非常食（乾パン・缶詰など日持ちするもの）・水（一人一日3リットル程度が目安）など  
生活用品（ライター・マッチ・ビニール袋など）  
衣料品、ヘルメットなど  
救急セット（常備薬・絆創膏など）、通帳（現金など）

\*この他にもさまざまなものがありますが、必要なものをよく考えて準備しておきましょう。

